(2) 本時の指導計画

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 ７分	○新聞発表を行う（聞く） ○前時の復習をする	・聞き方の指導を行う ・ペアワークで行う	
展開 ４０ 分	学習課題　生命倫理の諸問題について、班で是非について結論を出す ○グループのテーマを決める （くじによるテーマの割り振り 代理母、出生前診断、尊厳死、 クローン人間、遺伝子組み換え） 個人作業 ・テーマについて自分の意見を書く 各班のテーマについて、グループで是非の結論を出し、最後に発表します。その際、これから指示した思想家の思考方法、立場で考えてみましょう。思想家はデカルト、カント、ベンサムのいずれかから班で決めなさい。また、グループディスカッションは弁証法の手法で行います。 グループ作業 ・思想家を決め、思想を確認する ・弁証法の（正）を考える ・弁証法の（反）を考える グループディスカッション ・（正）と（反）の二つに分かれてディスカッションし（合）を導く ○討議結果を発表する	・議論に必要な知識が足りない場合は検索させる ・まだ公表させないようにする ・弁証法の確認は全体で行う ・作業プリントの書き方を指示する ・机間指導で結論をまとめられるよう援助する ・討議の過程も説明させる	生命倫理の問題点と思想が理解できているか 【Ｄ】
整 理 ３ 分	テーマについて改めて自分の意見を書きなさい。また今回のディスカッションを通して気がついたことや考えたこともあわせて書きなさい。		思考の深まりや変容が見られるか 【Ｂ】